

(刊夕日七十)

詩南社歌會詠草讀評 下

島田忠夫

○打仰ぐ空のふかきに山越も(え?)去りゆく場所を
煙のみかんこだくいろづきてをり

武田美佐子氏

一二句は云ひ過ぎてゐる
四五句は少しく調子に乗りすぎてゐる。歌調や歌詞の

美しい割に感銘少いのは、

巧みに退ぎた故とも思はれ

○月の影はのかにかかる
庭隅に枝もたははに密柑のなるも

長谷川太郎氏

『たはは』は『たわわ』である。
○醉醒のまだ顔赤きわが

友は咽渴くとて蜜柑むく

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

いてゐながら、實は目ざわ

しきり

高久曉霞氏

『たはは』は『たわわ』である。
○結句『なるもの』のものはい

けない。この歌どこかある

やふくて仲々佳い所がある

素直な調子もいび。

○結句『しきり』はよく利

